



教委だより

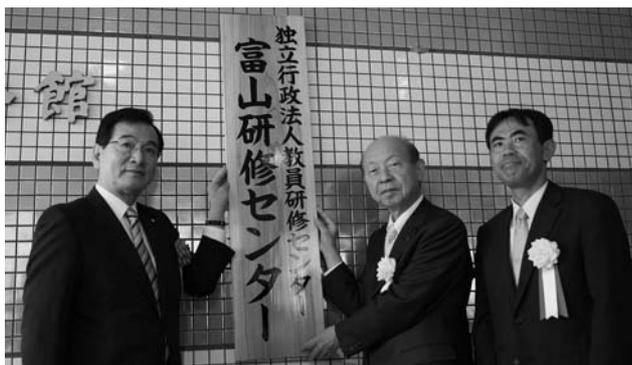
No.414

平成28年12月19日

編集発行 富山県教育委員会

発行人 教育企画課長

特集 Stop! ザ・ネットトラブル (p2)



看板掲出式の様子 (7月26日)



高岡信也理事長による激励のあいさつ



平成28年度キャリア教育指導者養成研修(第2回)を 富山県で開催!

国の地方創生にかかる取組である「政府関係機関の地方移転」における研修機能の一部移転として、独立行政法人教員研修センター（茨城県つくば市）で実施している研修のうち、キャリア教育指導者養成研修が富山県で開催されました。

8月29日から5日間、パレブラン高志会館で開催された研修には、全国26都府県から教育委員会事務局職員や小中高校の教員ら90名余りが参加しました。グループワークやポスターセッションなど多様な形式で行われた研修により、参加者は発達段階に応じたキャリア教育のあり方や校内外の連携を踏まえたキャリア教育推進のための具体的な手立て等について理解を深めました。

来年度についても、キャリア教育指導者養成研修を本県で開催するとともに、さらなる研修の拡充を求めていく予定です。

Contents (主な内容)

- 特集 Stop! ザ・ネットトラブル2p
- 「高志の国文学」情景作品コンクール及び「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクールの表彰式開催3p
- 第28回 富山県高等学校文化祭3p
- 第21回 富山県中学校文化祭3p
- 全国高校総体4p
- 平成28年度 全国中学校体育大会4p
- 第23回 環日本海インターハイ親善交流大会4p
- 2016 希望郷いわて国体(第71回国民体育大会)5p
- 第16回 全国障害者スポーツ大会「2016希望郷いわて大会」5p
- 第53回 全国聾学校陸上競技大会富山大会5p
- 第34回 富山県駅伝競走大会5p
- 平成28年度 全国学力・学習状況調査6p
- 平成27年度 児童生徒の問題行動等に関する調査6p
- 学校給食とやまの日の取組6p
- 子どもとやま県議会7p
- わくわく古代チャレンジ20167p
- (公財)富山県ひとり暮らし財団では、県教育委員会等と連携して元気で創造性豊かな子どもの育成に関する事業などを実施しています。7p
- 平成29年度 県立学校募集定員8p
- 健康教育実践優良学校の取組9p
- インフォメーション9p
- 総合教育センターNOW10~11p
- 学校レポート「地域を愛する生徒の育成
—「あいさつ、歌声、ボランティア」統合時の合言葉を生かす—」
射水市立新湊中学校12p
- リレーエッセイ「子どもはおもしろい~教師の指導助を養う~」
富山県小学校長会 富山市立芝園小学校長 宮口 克志12p

特集

Stop! ザ・ネットトラブル

~その2~

~みんなで注意!!~

軽い気持ち・悪ふざけでは済みません。インターネットの利用にもルールがあります。誘惑に負けない強い心を育てましょう。(注意：典型的な適用罪名を記載)

×ちょっと待った! その行為は犯罪です。

CASE 1 多くの人の注目を浴びたくて

少年は、スーパーの店内において、パンや菓子の包装紙にいたずらをする様子を撮影し、動画投稿サイトに投稿した。投稿した動画に対する反響などを見て、自分を英雄視していた。



業務妨害罪 (刑法)

※ 3年以下の懲役又は 50万円以下の罰金

CASE 2 コンピュータ・ウィルスを買

男子中学生は、海外の闇サイトから、IDやパスワードなどの個人情報を盗み取るコンピュータ・ウィルスやパソコン内のデータをロックして金銭を要求するコンピュータ・ウィルスを手し、それらを中・高校生らに提供して、電子マネー等の利益を得ていた。



不正指令電磁的記録提供 (刑法)

※ 3年以下の懲役又は 50万円以下の罰金

不正指令電磁的記録取得 (刑法)

※ 2年以下の懲役又は 30万円以下の罰金

CASE 3 ゲームに没頭するあまり...

男子中学生は、オンラインゲームに没頭し、特定のアイテムを手に入れるために、同級生が操作しているスマートフォンの画面からIDとパスワードをのぞき見、手に入れたクレジットカードの情報を盗み、仮想通貨を大量に購入した。

不正アクセス禁止法違反

※ 3年以下の懲役又は 100万円以下の罰金

電子計算機使用詐欺 (刑法)

※ 10年以下の懲役

CASE 4 子供が誘うのも犯罪!

女子高校生は、インターネットの出会い系サイトに自分の年齢や容ぼうを記載し、「買い物や映画に連れて行ってほしい。お小遣いをもらいたい」などと書き込み、金品を受けることを示して人を児童との異性交際の相手方となるように誘引した。



出会い系サイト規制法違反

※ 100万円以下の罰金

それどころか、タビッとする前 一呼吸

富山県立砺波高等学校

〔平成28年度「情報通信の安全な利用のための標語」〕

学校部門総務省北陸総合通信局長賞

~みんなでおさらい~

※答えは、5ページ(下)にあります。

まずは直感で考えてみてください。

- Q1 携帯ゲーム機でもインターネットができる
- Q2 携帯ゲーム機でもフィルタリングを利用できる
- Q3 フィルタリングを利用していると、「LINE」はできない
- Q4 フィルタリングを利用していると、「オンラインゲーム」はできない
- Q5 フィルタリングを利用していると、ゲームのアイテムを購入できない
- Q6 フィルタリングを利用していると、見ることのできないサイトがある

- or ×

フィルタリングを必ず利用しましょう!

従来型の携帯電話は①、スマートフォンは①~③に対応するフィルタリングが必要!



お子さんが安全にインターネットを利用できるようにするためには、
・スマートフォンの場合は、①、②、③の3つのフィルタリングが必要となります。
・そのためには、保護者の方が、お子さんのスマートフォンに、直接フィルタリングソフトをダウンロード・インストールする必要があります。携帯電話販売店に確認してください。

フィルタリングは、「有害サイト」や「悪質な違法サイト」などの閲覧を制限するものです。

なお、設定を正しく行えば、フィルタリングがかかっても、「LINE」などの無料通信アプリや「オンラインゲーム」を利用したり、ゲームのアイテムを購入したりすることができます。

携帯ゲーム機、携帯音楽プレーヤー等はフィルタリングの他に、機器本体で子供が利用する機能に制限を設ける「ペアレンタルコントロール(保護者による利用制限)」が有効です。

— 特集は次号(その3)に続きます。 —

「高志の国文学」情景作品コンクール及び「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクールの表彰式開催

11月14日(月)、「高志の国文学」情景作品コンクールと「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクールの表彰式が高志の国文学館で行われ、石井知事から二つのコンクールの入賞者49名に賞状と副賞が授与されました。

石井知事からは「ふるさとへの誇りや愛着、家族や地域の方々との絆を大切に、富山県の未来を切り拓く人材へと成長してほしい」と激励を受けました。その後、「高志の国文学」情景作品コンクール写真部門知事受賞の富山東高校2年桑田莉奈さんが二つのコンクールの受賞者を代表し、感謝の言葉を述べました。

今年度、情景作品コンクールには、文芸や美術、写真部門に計1,672点、作文コンクールには2,614点の応募がありました。



受賞者代表のあいさつ



「高志の国文学」情景作品コンクール知事賞、部門代表(金賞)



作文コンクール知事賞

第28回 富山県高等学校文化祭

第28回富山県高等学校文化祭が10月29日～31日を中心会期として、富山県民会館をメイン会場に開催されました。今年のテーマ「降りそそぐ青春の光 創造の結晶」には、青春を謳歌する高校生の喜びや苦悩の中から生み出された作品やステージ発表が、創造の結晶として次の時代の文化創造の基盤となってほしいという願いが込められています。

開会式は23専門部の代表生徒で構成する実行委員会が企画・運営を担い、高校生の若々しい感性や斬新なアイデアが光る演出に会場は大いに盛り上がりました。また、創造性あふれる作品展示やステージ発表は、会場を訪れた観覧者を魅了しました。



開会式フィナーレ

第21回 富山県中学校文化祭

「万葉発未来行き 創造のかがやき乗せて走り出せ」のスローガンのもと、10月9日に「第21回富山県中学校文化祭」が高岡文化ホールで開催されました。音楽や郷土芸能・演劇、美術、茶道等10部門で日頃の活動の成果を披露しました。会場には中学生や保護者が多数来場し、みずみずしい感性が光る作品やステージ発表に見入っていました。また、中学生による受付や案内等の運営がさわやかな印象を与えていました。



大門中学校による演劇「庭師ウイル」

全国高校総体



「2016情熱疾走 中国総体」を終えて

富山県高等学校体育連盟 理事長 高木 直樹

「美しく咲け 君の笑顔と努力の華」のスローガンのもと、平成28年度全国高校総体が、岡山県を中心開催県に鳥取、島根、広島、山口、の中国5県と和歌山県を会場に開催され、本県からは30競技に482名の選手が参加しました。

大会は、連日猛暑の中での開催となりましたが、本県選手はよく健闘し、12競技35種目で入賞を果たすことができました。

個人競技では、陸上競技男子5000m競歩、自転車競技男子3kmインディヴィデュアル・パーシュート、カヌー女子K-2 500m・200m、公開競技女子シンクロナイズド3m飛板飛込を含め6種目での優勝。ウエイトリフティングでは、学校対抗の部での優勝を果たすなど好成績を収めました。ぜひ、今後の活躍にもつなげてもらいたいと思います。



開会式富山県選手団入場行進



現地激励会

平成28年度 全国中学校体育大会

「全国大会で活躍した富山県の中学生」

富山県中学校体育連盟 理事長 辻 聡

「君の夢 努力の蕾 北信越で華となれ!」のスローガンのもと平成28年度全国中学校体育大会が北信越ブロックで開催され、本県では、サッカー（富山市）、バレーボール（黒部市、魚津市、入善町）、卓球（高岡市）の3競技が行われました。全国各地から2168名の選手が集まり、大会は大変盛り上がりました。

本県の247名の選手が12競技に出場し、ハンドボール男子の水見市立北部中学校、水泳競技男子200m個人メドレーの中田優一郎選手（富山市立南部中）の優勝をはじめ、6競技10種目で入賞を果たしました。

全国中学校体育大会以外でも、小矢部市立大谷中学校女子ホッケー部が、全日本中学生ホッケー選手権大会（秋田県開催）で3位になるなど、数多くの競技で富山県の中学生が全国の舞台上で活躍しました。

今年度の全国中学校体育大会の開催に際し、富山県教育委員会、開催市町教育委員会、関係競技団体をはじめ、多くの方々にご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。本連盟では、この経験を今後の選手の育成と強化にしっかりとつなげていきたいと考えています。



ハンドボール男子優勝 水見北部中学校



水泳競技 男子200m個人メドレー優勝
富山南部中学校 中田優一郎選手

第23回 環日本海インターハイ親善交流大会



8月6日（土）から12日（金）の7日間、富山県選手団25名と環日本海地域（韓国江原道、ロシア沿海地方、中国遼寧省）の高校生スポーツ交流大会が、中国 遼寧省瀋陽市で開催され、卓球競技（男女）とバレーボール競技（女子）の2競技が行われました。本大会では、バレーボール競技で2位、卓球男子が団体とダブルス戦で3位、卓球女子がダブルス戦で3位入賞を果たすことができました。各国のレベルの高さに驚かされるとともに、富山県選手団にとっては、とてもよい経験となりました。

また、競技力の向上はもとより、中国の伝統と文化にふれる等、スポーツ以外にも様々な交流を通して、環日本海地域との相互理解と友情を深めることができました。



バレーボール競技の試合
（富山県 対 中国遼寧省）



卓球競技女子の試合
（富山県 対 ロシア沿海地方）



開会式の様子
（各国選手団記念撮影）

2016 希望郷いわて国体(第71回国民体育大会)



去る10月1日(土)から11日(火)まで、2016希望郷いわて国体(第71回国民体育大会)が岩手県一円において開催されました。

高校生が大活躍した今大会では、カヌー競技スプリント少年女子カヤックペア500mの浦田樹里選手(水橋高校)・中田舞絢選手(水橋高校)、陸上競技少年男子共通5,000m 競歩の山本龍太郎選手(富山商業高校)が、見事2連覇の栄冠を勝ち取ったほか、ホッケー競技少年男子(石動高校)が準優勝を果たすなど、今後の競技力向上が期待される大会となりました。このほか、成年男子のバドミントン競技の優勝をはじめ、48種目で入賞を果たしました。

第16回 全国障害者スポーツ大会「2016希望郷いわて大会」

10月22日(土)から24日(月)まで「広げよう感謝。伝えよう感謝。」を大会スローガンに、第16回全国障害者スポーツ大会「2016希望郷いわて大会」が開催されました。

本県からは、陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク、ボウリングの5競技43種目に、特別支援学校(6校)に所属する11名の生徒を含む23名の選手が参加しました。

参加した皆さんは、それぞれの目標にチャレンジし、大会では、金メダル7個、銀メダル9個、銅メダル4個を獲得するとともに、延べ17名の選手が自己記録を更新するなど、すばらしい活躍が見られました。



第53回 全国聾学校陸上競技大会富山大会



第53回全国聾学校陸上競技大会富山大会を終えて

大会実行委員長 大嶋 淳子

10月7日～9日の3日間、「仲間を信じて!自分を信じて!つかめ勝利! in TOYAMA」のスローガンの下、第53回全国聾学校陸上競技大会富山大会が、31都府県44校247名の選手の参加により、盛大に開催されました。本県からは富山聴覚総合支援学校、高岡聴覚総合支援学校の2校から9種目、10名の選手が出場しました。

大会期間中は雨のため、コンディションの調整に苦労しましたが、本県選手はよく健闘し、精一杯練習の成果を発揮しました。中でも、高岡聴覚総合支援学校2年藤信美紀選手が女子1部走り高跳びで、前回に続き2連覇を果たしたことは、県内の大会関係者にとって大きな喜びとなりました。

全国から聴覚障害のある高校生が集い、競技の傍らで親睦を深め、友情を育んだことも良い思い出になりました。今後も、一人一人が自分を磨き、更に体力の向上を図るとともに、明朗な性格と協調精神を養うために努力することを期待します。



開会式選手宣誓
(富山聴覚総合支援学校 川岸日菜子選手)

第34回 富山県駅伝競走大会

県内12郡市代表の選手がタスキをつなぐ「第34回富山県駅伝競走大会」が秋晴れの越中路上で開催され、富山～高岡間 往復42.5km、18区間で熱戦が繰り広げられました。序盤に出遅れた富山市は8区でトップに立つと、その後は他のチームの追従を許さず、大会記録を8秒縮める新記録で8連覇を達成しました。

また、1周900mの県庁周回コースで行われた富山県小学生駅伝競走大会では、沿道に詰めかけた大勢の方々の声援を受けながら、小学生ランナーがタスキをつなぎました。



秋晴れの下、勢いよくスタートする選手たち

第34回県駅伝競走大会 結果

1位	富山市	2時間12分17秒	(大会新)
2位	砺波市	2時間15分43秒	
3位	魚津市	2時間17分21秒	
4位	射水市	2時間17分51秒	
5位	高岡市	2時間18分31秒	
6位	中新川郡	2時間19分06秒	

区間新記録

11区(中学女子)	1.8Km
廣田 百世(富山市)	5分35秒
14区(中学男子)	2.0Km
花田 樹(富山市)	5分48秒

県小学生駅伝競走大会 結果

1位	富山市	28分43秒
2位	高岡市	29分05秒
3位	射水市	29分58秒
4位	小矢部市	30分08秒
5位	魚津市	30分16秒
6位	砺波市	30分21秒

平成28年度 全国学力・学習状況調査



本年4月に実施された全国学力・学習状況調査について、9月に文部科学省より結果が公表されました。教科区分別平均正答率をみると、本県は、小・中学校とも全ての教科において全国の平均正答率を上回っており、一定の学力水準が保たれております。

これは、各学校における授業改善や児童生徒へのきめ細かな指導、そして市町村教育委員会や保護者、地域の方々の協力等、学力向上に向けた様々な取組の成果が現れたものであると考えています。

授業改善や学習習慣の定着等の学力向上策は、継続して取り組むことが大切であり、今後とも市町村教育委員会と連携しながら、各学校の取組を支援してまいります。

	小学校6年				中学校3年			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
本県平均正答率	75%	61%	81%	51%	78%	71%	65%	49%
全国平均正答率	73%	58%	78%	47%	76%	67%	62%	44%
H28(全国との差)	(+2)	(+3)	(+3)	(+4)	(+2)	(+4)	(+3)	(+5)
H27(全国との差)	(+2.9)	(+4.7)	(+3.3)	(+2.5)	(+2.3)	(+2.4)	(+2.7)	(+2.9)

※ A：主として「知識」に関する問題、B：主として「活用」に関する問題

平成27年度 児童生徒の問題行動等に関する調査 — いじめ・不登校・暴力行為 —

文部科学省の「平成27年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の結果が、10月に公表されました。

() は、本県の1,000人当たりの認知件数

いじめの認知件数

年 度	小 学 校	中 学 校	高 校	特別支援学校	合 計
H27	502 (9.3)	413 (14.2)	58 (2.5)	7 (5.7)	980(9.1 国18.0)
H26	482 (8.8)	347 (11.7)	32 (1.4)	7 (5.9)	868(8.0 国15.0)

いじめは、昨年度、文部科学省が「各学校で発生しているいじめを漏れなく認知した上で、その解消に向けて取り組むことが重要である」という見解を示し、その結果、各学校でいじめを積極的に認知する意識が高まり、いじめの認知件数は、26年度と比べ全校種で増加しました。1,000人当たりの認知件数は、すべての校種で全国平均(小：23.3、中：17.8、高：4.1、特：9.4)を下回っています。

() は、本県の1,000人当たりの不登校児童生徒数

不登校児童生徒数

年 度	小 学 校	中 学 校	高 校	合 計
H27	205 (3.8)	597 (20.5)	295 (13.2)	1,097(10.4 国13.4)
H26	215 (3.9)	583 (19.7)	294 (13.1)	1,092(10.2 国13.3)

不登校児童生徒数は、26年度と比べ中学校、高校で増加していますが、小学校で減少しています。1,000人当たりの人数は、すべての校種で全国平均(小：4.3、中：29.5、高：16.6)を下回っています。

() は、本県の1,000人当たりの発生件数

暴力行為の発生件数

年 度	小 学 校	中 学 校	高 校	合 計
H27	55 (1.0)	170 (5.9)	30 (1.3)	255(2.4 国4.5)
H26	44 (0.8)	177 (6.0)	25 (1.1)	246(2.3 国4.2)

暴力行為の発生件数は、中学校で減少していますが、小学校、高校で増加しています。1,000人当たりの発生件数は、すべての校種で全国平均(小：2.6、中：10.0、高：2.0)を下回っています。

日ごろから規範意識の醸成や自己肯定感の向上、教育相談体制の充実等の取組により、問題行動の未然防止を図るとともに、児童生徒をきめ細かく見守り、家庭や専門家、関係機関と連携して早期発見・早期対応に努めることが大切です。

学校給食とやまの日の取組

県教育委員会では、「富山県食育推進月間」に合わせて11月中の一日または数日を「学校給食とやまの日」とし、地元の農作物や県内食材を積極的に使用した学校給食を実施することとしています。県内の各小中学校では、市町村、学校給食関係者が協力して、地域の食材を取り入れた、特色ある献立が実施されています。

砺波市では、11月18日(金)に「学校給食とやまの日」が実施され、給食には、砺波市産コシヒカリのごはん、砺波市産の小豆やだいこん、さといも、にんじん等を使用した「いとこ煮」や「はりはりあえ」等が提供されました。

市内の小学校では、地元の生産者の方を招いて会食が行われ、砺波市学校給食センターの濱屋佳美栄養教諭が、児童に給食に取り入れた地場産物についての説明を行いました。



当日の給食



栄養教諭が指導している様子



子どもとやま県議会



8月25日、県内15市町村の27校から推薦された、小学校5・6年生の男女40名の子ども議員が富山県民会館に集い、平成28年度「子どもとやま県議会」が行われました。

今年度は、体験を通して富山県のよさを感じ取ることで、県民としての誇りや自信を高める提案や豊かな自然や水資源を大切に、その特性を生かして利用する提案、相手を思いやる気持ちをもつことで、みんなが安全で安心して暮らせる富山県を目指す提案や富山弁を使って交流することで、豊かな心が溢れる富山県を目指す提案が、活力・未来・安心・心の4委員会から出され、熱心な質疑応答の後、いずれも可決されました。

最後に、石井隆一県知事から「決してあきらめず、勇気をもってチャレンジし、未来をたくましく切り拓いていただきたい」との激励の言葉を受けました。



あんしん・あんぜん・あったかい
トリプルA富山づくり（安心委員会）

わくわく古代チャレンジ2016

埋蔵文化財センターでは、小学4～6年生を対象に「まが玉作り」などのさまざまな考古体験をとおして古代に生きた人々のくらしや知恵にふれる「わくわく古代チャレンジ2016」を夏休みに開催しました。

このうち親子で考古体験を行う「ふるさと考古学教室」では、「大型まが玉づくり」「アジロ・アンギン編み物づくり」「ガラス玉づくり」などを行い、290組の親子が楽しみながら古代の技に挑戦しました。また、考古学に関心のある小学生を対象にした「こども考古学クラブ」では、「縄文土器を学ぼう」をテーマにセンター職員の話を聞きながら、「縄文土器の文様を拓本にとってしおりを作る」「発掘調査で出土した土器の水洗いを体験する」「縄文土器の文様をつけたコースターを作る」の3つの活動を行い、考古学の専門的な知識を学びました。参加者からは「昔のものづくりの大変さが体験を通して分かる良い機会になった」「歴史が好きになった」「土器洗いは面白かった」などの感想が寄せられ、埋蔵文化財や地域の歴史への関心が深まりました。



土器の洗浄体験



ガラス玉づくり

（公財）富山県ひとづくり財団では、県教育委員会等と連携して元気で創造性豊かな子どもの育成に関する事業などを実施しています。

「夢の卵」育成事業



ノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊さんの「子どもたちには“夢の卵”を持ち続けて欲しい」というメッセージにヒントを得て始まった事業で、「将来こんなことがしたい」「こんな職業に就きたい」という「夢の卵（将来の夢）」を作文にしてもらい、優秀作品として表彰された皆さんにその道の第一人者のもとへ短期入門してもらいます。今年度は小学校、中学校あわせて3,502作品の応募があり、4点が優秀賞に選ばれました。この夏4人はそれぞれの分野に入門し、夢をさらに大きく膨らませることができました。



救急救命医に入門

「きらめき未来塾」事業



子どもたちの発想力や想像力など多様な可能性を引き出すため、各分野の第一人者を講師に招き、夏休み期間中に小学校高学年を対象とした3つの道場を開催しました。

- 右脳活用道場（講師：漫画家 森みちこ氏）漫画作りを通して、自分のアイデアを絵と言葉で表現する力を育てる。
- 思考道場（講師：県内の小学校教諭5名）ゲーム感覚で数学的思考方を磨き、柔軟な思考力・発想力を育てる。
- お笑い道場（講師：社会人落語家 安野家仁楽齋氏）落語を学び、ユーモアセンスと表現力を育てる。



お笑い道場（8/21お笑い大会）

※財団ホームページで各事業の様子を詳しく紹介しています。
[http:// http://www.t-hito.or.jp/zaidan/index.html](http://www.t-hito.or.jp/zaidan/index.html)

平成29年度県立学校募集定員

◆ 全日制7,182人、定時制約960人、通信制約300人、専攻科約160人を募集します。

◆ 特別支援学校の高等部及び高等部専攻科の募集人員は、約280人に訪問教育の若干名を加えたもの、並びに幼稚部は若干名とします。

- 平成29年3月の中学校卒業予定者数は、平成28年3月に比べ13人増の10,116人の見込みであり、全日制課程の募集定員は、平成28年度に比べ2人減の7,182人とします。
- 定時制課程の募集定員は、平成28年度と同様とします。
- 通信制課程の募集定員は、平成28年度と同様とします。
- 専攻科の募集定員は、平成28年度と同様とします。
- 特別支援学校高等部及び高等部専攻科、幼稚部の募集人員は、平成28年度と同様とします。

	募集定員	前年度比	備考
全 日 制 課 程	7,182人	-2人	
定 時 制 課 程	約960人	—	
通 信 制 課 程	約300人	—	雄峰高校生活文化科は募集停止
専 攻 科	約160人	—	
特別支援学校 高等部 及び高等部専攻科	約280人	—	訪問教育若干名を加える
特別支援学校 幼稚部	若干名	—	

平成29年度 富山県立高等学校全日制課程第1学年募集定員

学校名	学科名	募集定員		備考
		学級	定員	
泊 入 善	普 通	3	120	観光ビジネスコース 自然科学コース
	農 業	1	30	
桜 井	普 通	3	120	帰国生徒5
	土 木	1	40	
	生活環境	1	40	
魚 津 工業	普 通	5	200	電子機械コース 化学工業コース
	機 械	2	80	
	電 気	1	40	
	情報環境	1	40	
滑 川	普 通	3	120	
	薬 業	1	40	
	商 業	1	40	
上 市	海 洋	1	40	
	総 合	4	160	
雄 山	普 通	3	120	
	生活文化	1	40	
中央農業	生物生産	3	90	作物科学コース 動物科学コース 園芸福祉コース 環境緑化コース 生物工学コース 食品加工コース 福祉コース
	園芸デザイン			
	バイオ技術			
八 尾	普 通	4	160	
富 山	普 通	5	200	探究科学科
	理数科学	2	80	
	人文社会科学			
富山中中部	普 通	5	200	探究科学科
	理数科学 人文社会科学	2	80	
富山北部	普 通	3	120	
	くすり・バイオ	1	40	
	情報デザイン	1	40	
富山工業	機 械 工 学	2	80	
	電 子 機 械 工 学	1	40	
	金 属 工 学	1	40	
	電 気 工 学	2	80	
	建 築 工 学	1	40	
富山商業	土 木 工 学	1	40	
	流通経済	2	80	
	国際経済	1	40	
	会 計	2	80	
富山いずみ	情 報 処 理	2	80	
	総 合 看 護	4	160	
富 山 東	普 通	6	240	自然科学コース約40
富 山 南	普 通	6	240	国際コース
水 橋	普 通	4	160	体育コース約40
呉 羽	普 通	6	230	音楽コース約30

学校名	学科名	募集定員		備考
		学級	定員	
小 杉	総 合	4	160	
大 門	普 通	3	120	情報コース
	普 通	3	120	
新 湊	商 業	1	40	
	普 通	5	200	
高 岡	理数科学	2	80	探究科学科
	人文社会科学			
高岡西	普 通	3	120	人間福祉コース
	機 械	1	40	
	電 子 機 械	1	40	
	電 気	1	40	
高岡工芸	建 築	1	40	土木工学コース 環境化学コース
	土 木 環 境	1	40	
	工 芸	1	30	
高岡商業	デザイン・絵画	1	40	
	流通経済	2	80	
	国際経済	1	40	
伏 木	会 計	1	40	中国語コース 韓国語コース ロシア語コース
	情報処理	2	80	
高 岡 南	国 際 交 流	3	120	人文科学コース
	普 通	4	160	
福 岡	普 通	3	120	英語コース
	普 通	4	160	
	農 業 科 学	1	40	
	海 洋 科 学	1	40	
	ビ ジ ネ ス	1	40	
氷 見	生 活 福 祉	1	40	
	普 通	5	200	
砺 波	普 通	5	200	
	機 械	2	80	
	電 気	1	40	
砺波工業	電 子	1	40	
	普 通	4	160	
	農 業 環 境	1	30	
南 砺 福 野	福 祉	1	30	
	普 通	1	32	
南 砺 平	普 通	2	80	
	普 通	1	30	
南 砺 福 光	普 通	3	120	
	普 通	1	40	
石 動	普 通	1	40	
	商 業			
合 計		182	7,182	

※ 備考欄の「○○コース約△△」及び桜井高校普通科の「帰国生徒5」は、定員の内数である。
また、コース名のみは、2年次に開設するものである。

※ 詳しくは、県立学校課のHPをご覧ください。(http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/3003/index.html)

健康教育実践優良学校の取組



平成28年度健康教育実践優良学校は総合・近視予防・よい歯の3部門で12校が選ばれました。

	総合の部門	近視予防の部門	よい歯の部門
優良校	魚津市立松倉小学校	魚津市立住吉小学校	砺波市立砺波東部小学校
準優良校	砺波市立砺波南部小学校	砺波市立砺波北部小学校	入善町立黒東小学校
努力校	入善町立ひばり野小学校 富山市立朝日小学校	氷見市立朝日丘小学校 入善町立桃李小学校	魚津市立道下小学校 富山市立速星小学校

ここでは、その取組の一部を紹介します。

「よい歯の部門」優良校『砺波東部小学校』の取組

砺波市立砺波東部小学校では、歯科検診（年2回）、フッ化物洗口、学級指導、カラーテスター、歯科衛生士による歯みがき教室等の実施を通して、望ましい生活習慣の定着に継続的に取り組んでいます。

児童保健委員会の活動では、歯みがきカードを作成したり、取組のよい学級を表彰したりして、意識の向上を図っています。

家庭との連携では、保護者対象のおたよりを配布したり、一週間、家庭でカラーテスターを用いて保護者に見てもらいながら「歯みがきががんばりカード」に取り組んだりすることで、みがき残しの部分を意識して歯みがきを行うことができるようになっています。

その結果、歯肉異常率0%を維持しており、一児童当たりのう歯率は、平成26年度の0.1本から平成27年度には0.04本に減少するなど、大きな成果を上げています。



親子歯みがき

「総合の部門」の取組

- ・毎週1回「元気っ子タイム（45分間の昼休み）」を実施し、児童運動委員会が主体的に活動し、全児童に体をつかった遊びを奨励している。
- ・家庭との連携として「すこやかカード」に保護者のコメント欄を設けて、実践化を目指している。

「近視予防の部門」の取組

- ・毎週水曜日に「ノーゲーム・ノーテレビデー」を設定し、家庭と連携して取り組んでいる。
- ・総合的な学習の時間に「すこやかトーク」を設定し、健康についての「調査、実践、まとめ、発表」を位置付け、友達・保護者からの意見や学校医からの助言を基に学習している。

インフォメーション

会場所 内容 対象 募集人数 応募要領
 募集締切 参加料 ホームページ 問い合わせ

入館無料 富山県埋蔵文化財センター ☎076-434-2814

特別展「霊峰立山ー立山信仰を探るー」

期日 開催中～平成29年3月30日(木)まで

☑立山・黒部山岳遺跡調査」の成果をもとに、立山信仰のはじまりから広がり、近現代の立山と人々とのかわり等について、発掘調査の出土品や県内博物館が所蔵する資料、現地の写真等から紹介します。

展示解説会

入学生募集 放送大学富山学習センター ☎0766-56-9230

平成29年度第1学期生(4月入学生)の募集

期日 ☑平成29年3月20日(月)必着 放送授業開始4月1日(土)

☑放送大学は、BSデジタル放送やインターネットを通して、希望する科目を1科目から学べる通信制大学です。教員の方が、上位免許や特別支援学校教諭免許状等を得るために役立つ科目も開講しています。

☑<http://www.ouj.ac.jp/>

放送大学
富山学習センター

自遊塾 県民教授募集 富山県生涯学習カレッジ ☎076-441-8401

平成29年度県民カレッジ自遊塾 県民教授募集

期日 平成28年12月中旬～平成29年1月中旬

☑県民カレッジ本部 ☎076-441-8401

☑学んだことを活かして教えたい
・自主的に企画・発表したい
・学びを深め、交流したい

あなたも、県民カレッジ自遊塾の県民教授(ボランティア講師)になりませんか。

☑<http://www4.tkc.pref.toyama.jp/toyama/>

自遊塾
県民教授募集

入場無料(参加自由) 公益財団法人富山県ひとつくり財団 ☎076-444-2000

アイディア・ロボットフェスタ「チャレンジデー」

期日 1月14日(土) 9:00～12:30

☑高志会館カルチャーホール

☑産業用ロボットに関する講演会(講師: 榎不二越ロボット開発部先端技術開発部長 丸山章氏)、高校生、高専生が製作したロボットのデモンストレーションを行います。ぜひ、ご来場ください。

昨年のデモンストレーション

総合教育センター NOW

教育研修部 平成28年度若手教員研修(3年次教員研修会)について

今年度から始まった若手教員研修(3年次教員研修会)の中で、今回は「学級運営3」の受講者の声を校種別にお伝えします。

受講者にとっては、2年間の実践内容を踏まえながら、望ましい学級運営の在り方について考える機会となりました。

小学校



子供たち一人一人が「自分って大切な存在なんだ」と思える学級にしていきたいです。そのためにも、肯定すること、認めて受け入れることを大切にしていきたいです。

学級運営上の諸問題について協議した内容の発表

講義「よりよい学級運営を目指して」

講義の中で、「子供の気持ちを信じること、使命感を強くもち続けること、精一杯の愛情を注ぐことに、これまで揺るがずに取り組んできた」というお話を伺って、とても参考になりました。

中学校



高等学校



今後、どのような教師になりたいか、自分の理想像を改めて見つめ直す時期だと感じました。クラスの生徒から信頼されるよう教師自身が目標をもち、人間力を磨いていきたいです。

「学級運営上の課題と対応」についての班別協議

ペアになって研修全体での学びを確認する振り返り

様々な個性をもった生徒をより成長させるためにTTがあると思いました。1年目で感じていたTTとは感じるものが違いました。あらゆる場面における実態把握の重要性を再認識しました。

(※TT:チーム・ティーチング)

特別支援学校



平成28年度11年次教職員研修 社会体験研修について

教職経験11年目の教員は、本年度も各自が希望した事業所や公共施設等へ出向き、3日間の社会体験研修を行いました。10年間教職経験を積んできた受講者は、学校現場とは異なった視点から刺激を受けるとともに、これまでの自分を振り返る機会となったようです。

受講者からは、「顧客ニーズを把握するために、企画チーム内で検討を重ねることの必要性を教わりました。ちょっとしたニーズの誤解で企画が失敗したこともあったそうです。より確実な実態把握を行うことの大切さを感じました」「研修では、同じ『人と関わる仕事』である教職との共通点を感じとり、振り返ることができました。自分は笑顔で子供たちに接しているか、必要な支援ができていないかなどについて振り返ったことを、今後の教員生活に生かしていきたいです」といった感想がありました。



情報関連企業でのプレゼンテーション演習



科学・文化施設でのイベント運営補助

科学情報部

若手教員研修(初任者研修会)「授業におけるICT活用」について



ICTを活用した模擬授業 (小学校算数)

総合教育センター情報教育室では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員を対象に「情報教育」「教科指導におけるICT活用」「校務の情報化」に関する研修を開講しています。今回は、初任者研修会「授業におけるICT活用」について紹介します。

この「授業におけるICT活用」では、実物投影機、タブレット端末、パソコン、大型提示装置など、ICT機器の活用に関する基礎的な知識・技能を習得することにより、指導力の向上と、学習指導法改善への意欲を高める研修となることを心がけています。

受講者からは、「これまではICTをあまり活用したことがなかったが、活用する必要性を感じました」「いろいろな情報を集めストックしておき、活用できるようにしておきたいです」など、ICT機器活用の意欲が高まった意見や感想が多くありました。

その他、「自分の授業を振り返る機会になってよかったです」といった意見もありました。このように、授業においてICT機器の活用を考えることは授業に幅がもてるようになるだけでなく、授業設計そのものを見直すよい機会となっていると思われま



ICTを活用した模擬授業 (小学校国語)

教育相談部

より効果的な支援を目指して

～マッピング付箋法によるケース会議の進め方～

第2回学校カウンセリング講座(事例研究コース)では、7月27日(水)に富山大学の喜田裕子教授を講師に迎え、マッピング付箋法を基にした事例研究の意義と進め方について研修を行いました。各学校でのケース会議においてこの方法を用いると、短時間でよりよい支援を考えることができます。

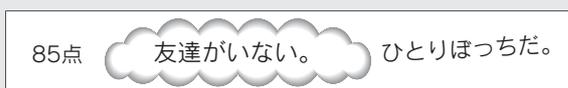
【マッピング付箋法の進め方】

- ① 事例提供者が事例の概要を説明する。
- ② 参加者が事例提供者に質問する。(一問一答、何度も)
- ③ 対象の児童生徒になりきって、困っていることを「もやもやの雲」の中に書いていく。(複数)

<例>



- ④ それぞれの雲に点数を付ける。(人生最悪を100点として考える。)
- ⑤ それぞれの雲に児童生徒の否定的な考え(自己認知)を書き込む。



- ⑥ それぞれの雲に児童生徒の感情を書き込む。



- ⑦ それぞれの雲について、児童生徒のよい考え(肯定的自己認知)を考え、A4用紙に書き出す。※否定的自己認知の正反対を書く。

自分はひとりぼっちではない。誰かが声をかけてくれる。

- ⑧ 肯定的自己認知をもつために、何ができるかを参加者各自が考え、付箋に書く。
- ⑨ 各自が書いた内容を発表し合い、付箋を1枚の画用紙に類型化する。(主語によって振り分ける。)
- ⑩ 見立てと支援(誰が何を行うのか)を確認する。
- ⑪ 事例提供者が、すぐできそうなアイデアを3つ選び、感想を述べる。



「もやもやの雲」への記入の様子



付箋をまとめている様子

(※マッピング付箋法についてご不明な点は、教育相談部までお問い合わせください。)

学校におじゃまして取材し、みなさんに各校の取組の様子をお届けします。

学校レポート

地域を愛する生徒の育成

— 「あいさつ、歌声、ボランティア」 統合時の合言葉を生かす —



射水市立新湊中学校

射水市立新湊中学校は、平成25年4月に奈古中学校と新湊西部中学校とが統合した学校です。統合する時、2つの中学校の生徒会は、「あいさつ、歌声、ボランティア」を3本柱に据え、お互いの伝統を生かしつつ新しい伝統を創造していこうと話しました。この言葉が今も生きています。



生徒会が毎月1回企画している「全校合唱」では、パート練習を昼休みに自主的に行うなど、生徒の主体的な活動によって質の高いものとなっています。上級生が下級生を指導したり、パートリーダーを中心に音楽の授業で指導を受けた内容についてみんなで深め合ったりして、学校全体に一体感が生まれています。今では、地域の老人福祉施設などに出向いての「合唱ボランティア」へと広がりをみせています。

「総合的な学習の時間」では、3年間を見通した地域学習を行っています。集大成となる3年生は、「射水市未来貢献プロジェクト(射水市の将来を考えた実践)」をテーマとして、地域での学習を中心に活動しています。市のPRソングをついたり、ゆるキャラを考案したりとユニークな活動が目を引きまます。近くにある新湊高校と放生津小学校と共に行うあいさつ運動も、その地道な取組が地域の方々からも好評です。



新湊中学校の校舎は、中庭をめぐるようにつくられた一体感のあるデザインとなっています。また、校章は、新湊中学校が地域とともに発展するように、その願いを大きく広がる3つの波で表現されています。新校舎や校章に込められた願いは、統合時2つの中学校の生徒会がつくった合言葉を根本に、学校と地域が一体となって着々と実現していることが実感できました。

リレーエッセイ

「子どもはおもしろい ～教師の指導勘を養う～」

富山県小学校長会長 富山市立芝園小学校長 宮口 克志

ICTを駆使するようになってから、若者の話の内容や考えに感動を覚えなくなったと聞いたことがあります。ICTの威力は凄まじく、大量の形式知を一瞬にして得ることが出来ます。その繰り返しと考えのパターン化を招き、企業の力が弱体化してきているとさえいわれています。インターネットで学習指導案等を簡単に入手できる昨今、「一人一人の個性に応じた指導」を大切にしている教育界においても同様のことが危惧されます。



1年生が学校探検で給食室を見学したときのことで。担任が「何か聞いてみたいことはないかな?」と尋ねたところ、さすがは1年生、「調理員さんはお金持ちなの?」「ジャガイモはどうやって育てているの?」という質問が。全くの想定外であり、指導書やインターネット上の指導案にはあり得ない展開です。

「ほかの質問は?」と話題を変えることも、「お金持ちじゃないよ」「ジャガイモは八百屋から買うんだよ」などと聞かれたとおりに答えることもできるでしょう。しかし、給食室の様子を見てなぜそんな質問をするのかを考えると、自ずと対応が違ってくるはず。す。

「大きな鍋や冷蔵庫、そして食材がたくさんあることに驚いて、『すごい機械だ、高そう』『こんなにたくさんのジャガイモを育てるのは大変だ』と思ったに違いない。」咄嗟にそう考えた担任が、「なぜそれが聞きたいの?」と問い返したところ、給食室にある厨房機器の種類や数、用途、食材の量や調理に要する時間などについて、子どもたちの疑問や意見が次々と飛び交いました。

法隆寺修復時の宮大工 故西岡常一氏が、かんなどの刃物研ぎについて「研いで、研いで、研いで 最後は勘」と言っています。まさに、OJTで必要なのは、勘とかコツなどのアナログ的な知(暗黙知)であり、「教育勘」を身につけること。子どもと向き合うときにはなくてはならない能力です。

■執筆者プロフィール

魚津市出身 教職員課小中学校人事係長、富山市立奥田北小学校長、富山市教育委員会学校教育課長、富山市教育委員会教育次長を経て平成27年4月より現職(平成27年県小中学校長協会会長、平成28年4月より県小学校長会長)

御意見・感想・学校が元気になるアイデア等お寄せ下さい。

教育長への直通メールアドレス : ml-powerup@pref.toyama.lg.jp